

# 秋葉就一の予算委質疑と臨時議会質疑の一部他

・3月4日の予算委員会と、4月30日の臨時県議会及びその後の要望活動等から

## 1. 防災のための予防伐採について

**1-1.** (昨秋の台風15号による多数の倒木が長期停電の主因の一つとなっていたので) 新規事業「災害に強い森づくり事業」は令和元年度2月補正予算に約4900万円と、2年度当初予算に約1億5600万円、合計約2億円が計上されている。この全予算が執行された場合、どのくらいの量の処分用木材が発生するのか。

**[森林課長]** 約1.1万m<sup>3</sup>と見込んでいる。

**1-2.** 相当な量でもあるので、撤去された風倒木や予防伐採された木材の処分・活用方法として、暖房や給湯・発電の燃料として活用するバイオマス資源としてのリサイクル的な活用及びその他の有効活用の可能性は？

**[森林課長]** 伐採した樹木には、質の低い木材が多いので、これらをバイオマス資源として製紙、木質ボード、畜産資材などの材料のほか、まき、発電用燃料など様々な用途に活用できる可能性はある。

**1-3.** 仮に大規模なリサイクルが実現できなくても、個人としてまきストーブ用の燃料利用などの目的で、処分用木材を引き取ることができれば好ましいが、その可能性はあるか。

**[森林課長]** 事業実施主体(市町村か森林組合)が個人向け木材を提供する仕組みを設けることで対応は可能。例えば、山武市では、市民が使用するまきストーブ等の導入を支援しており、同ストーブ利用者等に木材を供給することは循環利用の取り組みとして望ましい。

**【秋葉】** 一例だが、君津市の神野寺では、昨年の台風で境内に倒れた樹木を御霊木と捉え、復興祈願神野寺御霊木箸という名称の箸を製作する有効活用を行っている。こうした事例も含めて幅広い有効活用の検討を要望。

## 2. 児童相談所の停電対策等

**2-1.** 当初予算に、児童相談所等への非常用自家発電機整備として2100万円が計上され、7施設30台分とのことだが、施設や設備台数の選定理由は。

**[児童家庭課長]** 停電時に、エアコン、冷蔵庫等の必要な電力を確保するため、可搬式の非常用自家発電機を設置するもの。既にある市川児相を除く5つの児相と、その他2施設に規模を勘案して合計30台配備予定。

**(秋葉の4月以降の他の要望)** 親が新型コロナウイルスに感染した場合、子どもが児相に一時保護される場合があるが、親が退院して感染リスクなく一緒に生活ができるようになった段階で、速やかに一時保護を解除するよう県児童家庭課に4月に要望。

また、性的虐待等の通報で一時保護や仮保護等をする場

合、各児相が医師による診断の依頼など客観的な証拠の取得に努めることで、保護者とのトラブル回避に努めるよう4月に同課に要望。本当のひどい虐待を見逃さないことは極めて重要なことであるが、反対に、よく調べてみたら実は虐待ではなかったというケースもありうるわけで、そうしたケースでの保護者に対するきちんとした説明、速やかな保護解除とお子さんの引き渡し等がなされない、県の児童虐待防止行政は信頼を得られない。

## 3. 新型コロナウイルス感染症対策

私が2月初めから強く県に求めてきたのは、まず一つにはPCR検査の飛躍的拡充です。千葉県全体でのPCR検査の1日あたり最大可能数は、

2月末が312件、3月末が438件、4月末が5月末と同じで672件(病院単独実施と医師会経由除く)。

4月下旬で2月末の倍以上にはなっている。しかし、実際に使われた一日最高件数は、2月が59件、3月が244件、4月が436件、5月は322件と有効活用率は最大で65%でしかない。とにかく、検査控えが起きないようにしないとイケない。

他方で、保健所ルートではスピーディーな大量検査に限界があるので、3月末頃からは私は、市町村単位の医師会等が受託して運営するPCR検査センターの設置を、県と市に対して強く求めてきました。その結果、5月21日から、八千代市医師会が県の委託を受けて、ドライブスルー方式で市民が検査を受けられる「八千代PCRセンター」が設置されました。(場所は非公開。症状があるのにかかりつけ医がなくて、どこの病院に行ったらよいかわからない場合は、市健康づくり課047-483-4646にお電話を。)市医師会と市に深く感謝申し上げます。

4月30日の臨時県議会では、無症状・軽症者のためのホテル確保事業について質疑。同日時点で、2千室の目標に対して、確保済みはまだ526室だったので見直し等を訊ねた。150室以上で1棟全体を借りられる等の条件を満たすところと調整中とのこと。(その後、東横イン西船橋原木インター等が加わり、5/27現在で736室)

八千代市には、習志野保健所管内の帰国者・接触者相談センター(047-475-5154)と、県下共通24時間対応の新型コロナウイルス相談ダイヤル(0570-200-613)の電話番号等を大きく広報やちよ1面に掲載するよう4月から要望し、5/1号で実現。

・持続化給付金コールセンター：0120-115-570

・千葉県中小企業再建支援金：0570-04-4894

※地方議員志望者・若者(18歳~30代)インターン及び事務所有給スタッフ募集中